

ロボット推進室 近況報告と市場動向



ロボット推進室 室長

寺内 宏

新設のロボット推進室は昨年10月から本格的な活動を開始しました。当初はデモ機の稼働ティーチング習得し入口ながら機器の特性を理解いたしました。次に設備機械メーカを訪問させていただき各社の特徴から得意な分野や取扱製品などを教えて頂きました。並行してお客様へのプレゼンと各営業所のお客様へのご挨拶を進め おかげ様でお引合も多数いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

引合の多くは工場の自動化（FA化）の推進ですが「一度工場を見て提案を欲しい」との要望が多数あります。また、ネットから資料カタログの要請なども多数頂いております。当部所としては現場を見て、人を見て、作業を見て、ワークを見て、多くの情報をインプットすることを心がけております。今までは主力のお客様が金属加工、機械組立でしたので扱い商品も少しは理解出来たのですが 溶接、食品、電機、建材など異業種の案件はお客様に教えていただきながら勉強させていただいているレベルです。お客様のご理解とご協力が欠かせない事業と痛感しております。

ロボット導入の理由の多くは人員削減、生産性の向上、品質安定、環境改善などが多く挙げられています。多くはコスト経費の削減を目的とした導入計画となります。会社によって理由は多々あると思います。しかしながら最近の導入理由としては「人手不足解消」が増加傾向にあります。多くの会社では求人しても人が集まらない焦りから導入を急ぐケースが見られます。ロボット導入理由も時代で大きく変化しています。今や求人倍率はバブル期

を超え43年ぶりの1.48倍（4月）となりました。就職希望者の多くは仕事の内容を吟味し選択する時代です。単一作業、長時間労働は既にロボットが担わなければならない宿命とも言える時代になったと感じています。

ロボット推進室は絶妙のタイミングで設立されたと感じとっています。しかしながら当方の力量不足でお客様のご要望を満足させるに至らずご迷惑をお掛けしていることも事実であり反省の日々を送っております。

現在進行中を含め一部のお引合状況をお知らせいたします。

ご参考ください。

- 1、N社様・・・ワーク全数目視検査の自動化で画像処理提案
- 2、H社様・・・エンジンパーツの組立を自動化ラインで検討
- 3、T社様・・・建材部品への補強材接着作業を自動化提案
- 4、A社様・・・円筒クランプ溶接を自動溶接装置導入提案
- 5、T社様・・・加工部品後のバリ面取り加工の自動化提案
- 6、K社様・・・ギヤ加工後のバリ取り作業の低減
- 7、N社様・・・海外老朽ロボットの更新検討

他にも多数のお引合ご相談を頂いております。お引合を頂いているお客様へは大変感謝申し上げます。以降もお引き立てのほど宜しく願い申し上げます。